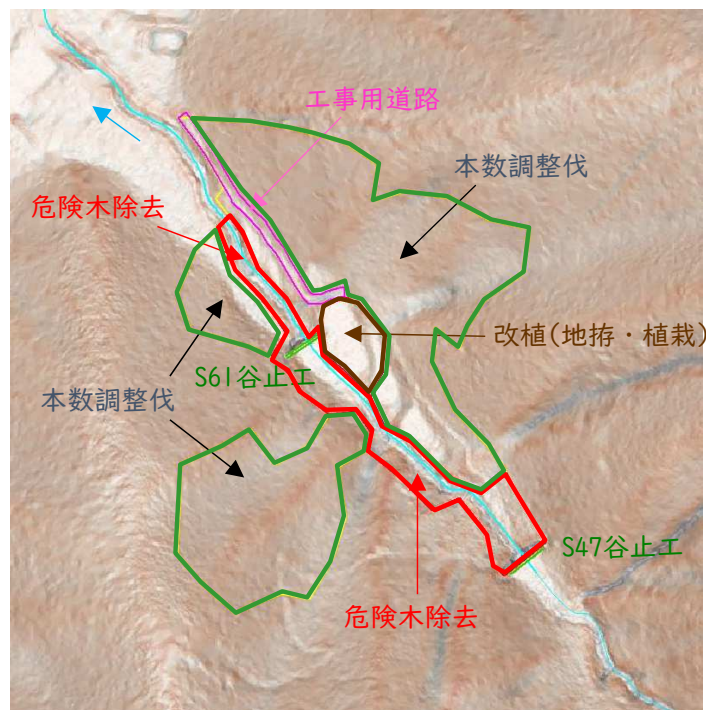
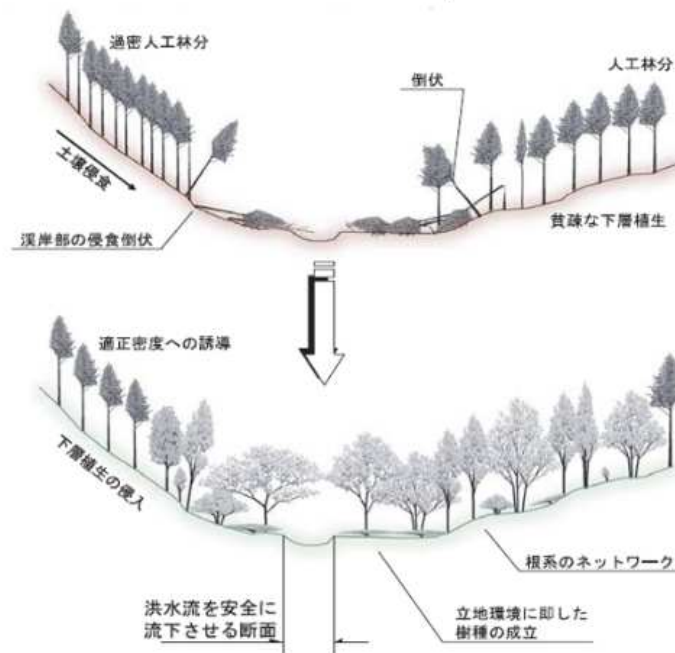


災害に強い森林づくりの一環として、流木化して下流域へ被害を及ぼす可能性の高い流路部の危険木の伐採や倒木除去を行ったうえで、流路兩岸の過密化した荒廃森林の本数調整伐や適地・適木を意識した改植、荒廃溪流対策としての施設整備に取り組んでいる。



整備方針 模式図



- ・ 溪岸侵食等により流路内に倒木が発生
- ・ 溪畔や旧耕作地では土壌が過湿となり、適地適木に沿わないスギ・ヒノキ・カラマツが倒伏
- ・ 両岸斜面のスギ・ヒノキ・カラマツ林が過密化し、下層植生の生育が乏しく、表土が流出

- ・ 流路付近の倒木除去
- ・ 溪畔や旧耕作地には、水分条件の良い土壌に適した高木性広葉樹(ケヤキ)を導入(改植)
- ・ 両岸のスギ・ヒノキ・カラマツ林の本数調整伐による下層植生の成長促進

危険木伐採・倒木除去



地拵え・改植

